令和７年度（第２期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・外国人留学生特別選抜）
入学試験問題（小論文）

注　　意

1　試験時間は１２０分。
2　問題紙は　6　枚（表紙を除く）、解答紙は　2　枚。
3　回答は設問番号を明示した上で、設問ごと**別の解答紙**に記入すること。

設問 I

下の文章を読んで、次の問いに答えなさい。ただし(1)、(2)合わせて解答紙 1 枚以内に収めること。

(1) 下線部の問いかけに対し、あなた自身はどのように考えるか。文章の内容を踏まえつつ、あなたの考えを述べなさい。

(2) 「学知」と「実践知」はどのように異なっているのか、本文の内容を踏まえて説明した上で、大学院で「学知」を学ぶことの価値についてあなたの考えを述べなさい。

ここには「橋本努『学問の技法』ちくま新書、2013 年、68 頁–70 頁」の文章が記載されています。

（橋本努『学問の技法』ちくま新書、2013 年、68–70 頁より作成。太字は原文ママ。）

設問Ⅱ

日本に在留する外国人は令和４年（2022 年）末で約 308 万人いる。外国人が生活のために必要な日本語等を習得できる環境の整備が必要となっている。

表 1～5 は、文部科学省による「令和５年度　日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果について（令和６年８月）」をもとに作成したものである。

これらの表を見て以下の各問いに答えなさい。ただし(1)(2)合わせて解答用紙１枚以内に収めること。

(1)　これらの表から読み取れる特徴を述べなさい。

(2)　(1)で読み取ったこと踏まえ、あなたがさらに研究を深めていく場合、どのような問題意識のもとで、どのような方法によってどのようなテーマの研究を進めていくのか。あなたの考えを述べなさい。

（注）この調査における「日本語指導が必要な児童生徒」とは、日本語で日常会話が十分にできない児童生徒、もしくは、日常会話ができても学年相当の学習言語が不足し、学習活動への参加に支障が生じている児童生徒を指している。また、「外国籍」の児童生徒とは、地方公共団体が所管する学校に在籍している外国籍を持つ児童生徒を指している。日本国籍との二重国籍者は「日本国籍」の児童生徒として扱っている。

（参考）和暦と西暦の関係は以下の表のとおりである。

和暦	西暦
平成20年	2008
平成21年	2009
平成22年	2010
平成23年	2011
平成24年	2012
平成25年	2013
平成26年	2014
平成27年	2015
平成28年	2016
平成29年	2017
平成30年	2018

和暦	西暦
令和元年	2019
令和2年	2020
令和3年	2021
令和4年	2022
令和5年	2023
令和6年	2024

表 1　日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数

文部科学省(2024)「令和 5 年度　日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果について」4 ページの表が記載されています。

表 2　言語別　日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の在籍人数

文部科学省(2024)「令和 5 年度　日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果について」12 ページの表が記載されています。

表３　公立学校に在籍している外国籍の児童生徒数

文部科学省(2024)「令和５年度　日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果について」７ページの表が記載されています。

表 4　日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数

文部科学省(2024)「令和 5 年度　日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果について」28 ページの表が記載されています。

表 5　言語別　日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒の在籍人数

文部科学省(2024)「令和 5 年度　日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果について」17 ページの表が記載されています。

(表 1～5：文部科学省(2024)「令和 5 年度　日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果について」をもとに作成)

令和７年度　（第２期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜および社会人特別選抜および
外国人留学生特別選抜）

臨床心理学コース
入学試験問題（専門科目）

注　　意

１．試験時間は１２０分。
２．問題紙は１枚（表紙を除く）、解答紙は５枚。
３．解答は所定の用紙に記すこと（設問Ⅰ～設問Ⅲの解答は各１枚の解答紙を用いて、設問Ⅳの解答は２枚の解答紙を用いて、(1)～(4)を１枚目、(5)～(8)を２枚目に記入すること）。

・・・・・・・・臨床心理学コース・・・・・・・・

【設問Ⅰ】 発達障害を持つ児童青年に起こりうる二次障害について、その①発生要因、②予防、③治療や支援の３つの視点から述べなさい。 (20 点)

【設問Ⅱ】 災害に関する心理教育で必要なことと、災害後の「こころのケア」について留意すべきことを述べなさい。 (20 点)

【設問Ⅲ】 臨床心理学においては正常な状態と異常な状態をどのような基準で区別するかについて、複数の視点から述べなさい。 (20 点)

【設問Ⅳ】 以下の用語をそれぞれ５行程度で説明しなさい。 (各 5 点)

（1） 児童福祉法

（2） 性別違和

（3） マシュマロ効果

（4） スティグマ

（5） ワークライフバランス

（6） スケーリング・クエスチョン

（7） 時間見本法

（8） ９５％信頼区間

(以下余白)